

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	五十嵐 麻利江
主な担当科目	実技個人レッスン〔声楽Ⅰ①,声楽Ⅰ②,声楽Ⅰ③,声楽Ⅰ④,声楽,音楽芸術表現実技(声楽)①,音楽実技(声楽)Ⅰ〕
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	1年を総括して学部・短大・院生のそれぞれの学びにおいて基礎能力を身につけること。これは毎年の教育目標として掲げていることである。そのことに加えて本年度は授業に臨む観点から教員は学生の特徴及び長所を早い時期に見つけ出すこと、サポートしていくこと、盛り立てていくこと、そして待つこと。忍耐強く時を待つことが大切なことだと痛感している。輝きに満ちた音楽づくりを目指していきたい。
2023年の教育に関する自己評価	パンデミックが明けて思い通りの呼吸を使って音楽を表現しようとする学生のためのフォローは実施されたと思う。それ以前に心と身体のバランスがうまく取れなくなってしまった数名の学生たちへのサポートにも自分なりになされていたと思われる。5を評価した理由はかなりのプライベートな時間を彼らのために費やしたからである。
2023年のFD活動に関する自己評価	多様な学生、言葉の理解に問題のある外国人学生に対しての教育はFD会議やFD委員会などでの先生方のご意見を参考にさせていただき行ってきた。彼らの中には卒業を目標としていない学生もいるので各々の対応は異なるが心を閉ざす学生と理解が困難な学生はゆっくりと丁寧に焦らず行ってきた。最も大切な事だと認識している。
授業改善のために取り入れた研修内容	私が担当している【歌うためのイタリア語】の授業では日本語が苦手な学生に対してはイタリア語で説明をして誰でもが勉強せねば理解できない共通語としてイタリア語を有効活用するようにしている。外国人留学生にとっては日本語の勉強に加えてのイタリア語ではあるが歌の進歩には欠かせない言語なので是非とも会得してもらいたい。

2023年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1826 教員名:五十嵐麻利江

1)アンケート結果に対する所見

歌うためのイタリア語の授業評価アンケート調査の結果をみて思う事を記述する。23年度の学部短大1年生はぜひ今までになく積極的に授業に取り組み、イタリア語を学習する意欲に富み、美しく歌うための発声や呼吸への積極性や具体的な取り組みが顕著にみられ理想的なクラスであった。

授業内では音節の朗読、会話、古典イタリア歌曲の詩の解釈、過去のイタリア人歌手によるDVD鑑賞や独唱など90分をいかに短く感じさせるかをいつも試行錯誤している甲斐があつてか評価がとても良かったことに安堵している。

来年度もぜひこのペースで挑みたい。

2)要望への対応・改善語を方策

改善点のひとつとしていかにシラバスに沿ってはいるもののそこからさらに深く真髓に迫るものを彼らに伝えられるかが問題であると思う。飽きさせない、面白くて興味がわく、でもこれが本質であることを伝えていきたい。

3)今後の課題

1年次の必修であるこの授業をまた来年取りたい、もっと深くイタリア語と歌の密なる関係を知りたいと思ってもらえるのであれば、歌うためのイタリア語は語学基礎と歌の基盤に大いに役立つはずである。今年度を理想に次年度もチャレンジしていきたい。このアンケート結果は意義深いと感じている。

以上